

【WinBeキッズ】 今月のテーマ：GWの会話

1	Where are you going for the holidays? この連休、どこへ行くの？
2	I'll stay home because everywhere will be crowded. どこにも行かないよ、どこも混んでるに違いないからね。
3	What about you? 君はどう？
4	I'll take a trip to Shikoku. 四国に旅行するよ。
5	Sounds good! いいね！



Native Teacher's Room

Hi, everyone well it's that time again. Like to welcome all our old students back for a new year and also our new students a warm welcome home you enjoy English as much as I do teaching. :) Also loving this amazing weather with the beautiful Cherry blossoms.
Josh

みなさん、こんにちは。またお会いしましたね。去る生徒さんもいれば、新しく入ってくれる生徒さんもいるこの時期ですが、皆さんに英語を楽しんでもらえるよう、僕も一所懸命がんばります。また、この桜がきれいなとても素敵な季節も楽しんでいきましょう。ジョシュでした。



Manager's Room



先日のイースターパーティーには非常に多くのお友達にご参加いただき、本当にありがとうございます。総勢31名のお友達にご参加いただき、とても楽しい一日を過ごすことができました。みんな、「イースター」って何をやる日か分かったかな？次回、夏休みの8/10(土)にスポーツマジック桑名で「Joshと行くBBQパーティー」を開催する予定です。お友達もお誘いの上、ご参加ください。

さて、新年度・新学期が始まって、2週間が経過しましたが、元気に学校・幼稚園に通ってますか？もうすぐ、ゴールデンウィークですが、遊びだけでなく、英語の勉強も頑張っていきましょうね。そんな皆さんに、英検と児童英検をお薦めします。初めての方は、

児童英検のプロンを、以前にそれぞれで80%以上できていた方は、一つ上のグレードを、児童英検ゴールドで80%達成していたら、英検5級を受けてください。6/15(土)には、児童英検練習会(無料)を企画しています。中学生・高校生・社会人の方は、是非、英検を受けてください。受験級・勉強方法など英検・児童英検に関するご相談はご遠慮なく、WinBeへご連絡ください。



The promise and perils of radio.

今月の読み物

NHKがラジオ放送を始めたのは、1925(大正14)年のきょうだった。聴取者は日中戦争前に大新聞の読者数を超え、この新メディアは国策の宣伝を担うことになる。破局に至る熱狂は、朝日などの大手紙とラジオの共作といえる。

マスコミの戦争責任を自問する「NHKスペシャル」によると、放送の活用は、演説を拍手や歓声と共に伝えるヒトラーに倣ったようだ。「耳から心に響き、戦意高揚につながった」との解説に、苦い思いで顔(うなず)いた。

対象は大人に限らない。昭和初めから戦中、「子供の時間」という番組が毎夕流された。内容を知らせる月刊誌「ラヂオ子供のテキスト」を、東京の収集家三澤洸(ひかる)さん(78)が見せてくれた。

たとえば昭和13年11月の「支那(しな)の軍隊」。〈抗日排日の支那人には一歩もひけを取らず、びしびし懲らしめて正しい道に立ち帰るよう……〉と高圧的だ。「銃後の少国民」なる言葉もよく出てくる。少年少女は、立派な臣民になろうと思ったに違いない。

盛衰を経たラジオの実力が、震災で見直された。手軽に送受信でき、非常時には情報の交差点と期待される。在京大手は、都会では聞きづらいAMからFMへの転換を思案中という。いざという時の役割を心得ての策だろう。

ネットを含め、メディアの真価は「社会の逆境」で試される。扇動の洪水は国を過つが、一片のお知らせが多くを救いもする。世が一色に染まらぬよう、確かな情報を選び取る力を養いたい。そんな放送記念日もいい。

Japan Broadcasting Corp. (NHK) started radio broadcasting on March 22, 1925. Listeners outnumbered newspaper readers before the Sino-Japanese War (1937-1945), and radio became a propaganda tool of the government. Together with major newspapers, including The Asahi Shimbun, radio whipped the public into a frenzy that eventually led the nation astray.

According to an NHK documentary program on the mass media's war responsibility, the use of radio for propaganda was inspired by Adolf Hitler's speeches, which were always accompanied by wild applause and cheering from the audience.

"Listening to them was a rousing experience that boosted the public's fighting spirit," the program explained, and I had to unhappily agree.

Adults were not the only listeners the broadcaster had in mind. From early in the Showa Era (1926-1989) through the World War II years, a program titled "Children's Hour" was aired every evening. Hikaru Misawa, a 78-year-old Tokyo collector of prewar memorabilia, showed me a copy of "Rajio Kodomo no Tekisuto" (Radio children's textbook), a monthly program guide that was published back then.

"Shina no Guntai" (Chinese armed forces), a typically jingoistic episode broadcast in 1938, not after decades of rise and decline, radio's merits have been rediscovered since the 2011 Great Earthquake. The worth of the media, including that of the Internet, is tested in society's times of trial. A delu

「ラジオのカ」再び

5月の予定表

4/28(日)~5/6(月) ゴールデンウィーク(レッスンお休み)
5/11(土) 英検申込締切<一次: 6/8(土)、二次: 7/7(日)>
5/25(土) 児童英検申込締切<試験日: 6/22(土)>
幼児・小学生の皆様へ

是非、児童英検を受けてください。直前の6/15(土)には児童英検練習会(参加費無料)を開催する予定です。詳しくは、ご遠慮なくWinBeへご相談ください。



桑名中央校

〒511-0058
桑名市千代田町38岡村ビル3F

TEL 0594-27-4070 FAX 0594-27-4051 wb-kuwanac@dct-ie-mie.jp